

平成 25 年度第 3 回研究企画委員会
議 事 録

1. 日 時：平成 25 年 8 月 27 日（火） 15:00～17:40

2. 場 所：安藤ハザマ 本店 2F 会議室

3. 出席者：(アンダーラインは欠席、*は委任状提出)

長田委員長，笠副委員長，阪元幹事*，天野委員，池田委員*，浦越委員，江口委員
大野委員，佐々木委員，品川委員*，田中委員*，照屋委員*，升元委員*

(委任状提出者を含めて過半数以上であり、委員会成立。)

4. 討議資料

- ◆研究企画委員会 平成 25 年度第 2 回委員会議事録(案) (25 研企Ⅲ資①)
- ◆地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)活動状況報告 (25 研企Ⅲ資②-1)
- ◆廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会第 11 回議事録 (25 研企Ⅲ資②-2)
- ◆平成 25 年度第 4 回, 第 5 回理事会議事録(案) (25 研企Ⅲ資③-1)
- ◆平成 25 年度第 3 回事業企画委員会議事録(案) (25 研企Ⅲ資③-2)
- ◆平成 25 年度第 3 回拡大総務委員会資料 (25 研企Ⅲ資③-3)
- ◆「一家に一枚シリーズ」ポスターの企画案 (25 研企Ⅲ資④-1)
- ◆「一家に一枚シリーズ」ポスター企画案不採択の連絡 (25 研企Ⅲ資④-2)
- ◆岩盤分類小委員会技術書目次・内容表 (25 研企Ⅲ資⑤-1)
- ◆岩盤分類小委員会技術書作成工程表 (25 研企Ⅲ資⑤-2)
- ◆岩盤分類小委員会技術書原子力基礎の章に対する意見 (25 研企Ⅲ資⑤-3)
- ◆「震災後の国民のための土木地質学の 29 の課題と提言(素案)」に関する意見照会 (25 研企Ⅲ資⑥-1)
- ◆平成 25 年度応用地質学会シンポジウムにおける課題と提言に関する意見(環境地質部会) (25 研企Ⅲ資⑥-2)

5. 議 事

5-1. 前回議事録の確認

議事録案について承認した。

5-2. 研究小委員会活動報告

(1) 地すべりの初生と評価に関する研究小委員会(第二期)

【報告事項】・・・江口委員代読

- ・ 6 月 30 日に行われた災害地質部会との第 1 回合同会議について報告。
- ・ 来年度のシンポジウムの発表内容、テーマ、特別講演、話題提供など。

(2) 廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会

【報告事項】・・・大野委員

- ・ 第 11 回委員会(平成 25 年 5 月 31 日開催)の議事内容についての報告。
- ・ 話題提供(最終処分場閉鎖後のモニタリング)、地盤工学会の震災報告書について(9月に第一原稿を作ることを目指す)、研究小委員会活動の今後について議論があった。
- ・ 今後検討すべき課題があるため、委員会の延長、もしくは二期の設立を考えている。

【審議事項】

- ・ 委員会の延長、もしくは二期の設立については、再度小委員会で議論した上で遅くとも年

内には方向性を決定してほしいとの意見が出された。

5-3. 理事会／常置委員会報告

(1) 理事会

【報告事項】・・・長田委員長

- ・平成25年度第4回理事会(平成25年6月21日開催)および第5回理事会(平成25年7月16日開催)における議事内容(一部)の報告。
- ・2014年地惑連合プログラム委員(副委員)、岩の力学連合会選考委員、地層処分技術ワーキンググループ委員に長田委員長が推薦されたことが報告された。

(2) 拡大総務委員会

【報告事項】・・・笠副委員長

- ・平成25年度第3回拡大総務委員会(平成25年7月5日開催)における議事内容の報告。
- ・2015アジアシンポジウムについて、今後研究企画委員会に大会協力の要請があり得ることが報告された。
- ・ミニ講習会等(8月23日土木地質研究部会が実施)の開催について、開催を許可する委員会や開催に当たっての承認の流れなどを審議すべきであるとの議論があった。

(3) 研究教育部門会議

【報告事項】・・・笠副委員長(資料はなく口頭で内容説明)

- ・7月26日に開催された議事内容の報告。主な議題は以下の通り。
- ・研究事業実施通知・報告要領(案)について討議を行い、今後ルールをまとめていく。
- ・物探学会との連携を深めるための講習会の開催を今後検討していく。
- ・「地質・地盤情報活用に関する法整備推進協議会」について応用地質学会からも委員を派遣する予定。

(4) 事業企画委員会

【報告事項】・・・江口委員代読

- ・平成25年度第3回事業企画委員会(平成25年7月29日開催)における議事内容の報告。

【審議事項】

- ・研究教育部門会議で議論となっていた研究発表会で小委員会や部会によるセッションのルール化について、事業企画委員会で話し合われているようであるので、その内容を確認する。

5-4. 「一家に一枚」ポスターの企画募集について

- ・理事会から検討依頼のあった「一家に一枚」ポスター企画については、「水」をテーマに応募したものの、文科省より不採用の連絡があった。
- ・コンセプト等については共感を得られているため、今後1年間かけてデータ収集等を行いよりよい提案ができるようにしておく。

5-5. 岩盤分類技術書の内容確認について

【報告事項その1：執筆作業の進捗と内容確認の項目について】・・・江口委員

- ・第1章と第12章がまだ未完であるため、その2つの章については後日担当に配布する。それ以外の章については内容確認をお願いしたい。
- ・内容確認の項目については、前回(第2回研究企画委員会)で配付した資料を後日再配布す

る。

【審議事項その1：全体の作業内容・方針等】

- ・ 内容確認の方法については、配布された原稿に朱書きで修正を入れる方法と、まとまった内容や指摘部分については様式にそって記載する方法を併用して行うこととする。様式の作成は阪元幹事と江口委員が相談して決定する。
- ・ 確認結果は、10月4日までに阪元幹事に送付する。
- ・ 第1章、第12章の修正をできるだけ早く進めるよう小委員会に依頼する。また、まえがきの部分の修正も早い段階で実施するよう依頼する。

【報告事項その2：第8章（原子力発電所基礎）の扱いについて】・・・天野委員

- ・ 天野委員より、前回研究企画委員会時配布の原稿について確認結果の説明があった。
- ・ 基準（調査の流れ）が東日本大震災以降変更されており、それに則った形での記載が必要。
- ・ 今後の建設に当たっての調査の流れや方針等については、これからの議論の中で変わっていく可能性が大いにあり、現時点で技術書に書くことは不可能であると思われる。

【審議事項その2：第8章（原子力発電所基礎）の扱いについて】

- ・ 過去行われたことを淡々とまとめることは可能と思われる。ただしこの場合、東日本大震災以降の建設には当てはまらないことを明記する必要がある。
- ・ 仮に掲載しない場合でも、まえがき等で状況を説明する必要があると考えられる。
- ・ 上記の議論を踏まえ、第8章を技術書に掲載するか、仮に掲載する場合どのような方針で書くかを再度小委員会で検討する。

5－6. 「震災後の国民のための土木地質学の29の課題と提言（素案）」に関する意見照会について

【審議事項】

- ・ 意見照会のスタンスについて、「土木地質学」としての課題と提言に関して意見を求められているのか、それともこれを「応用地質学」としての課題と提言に膨らませた時に足りない項目等を出すことを求められているのかが曖昧になっており、どのような意見を返すべきかわからない。
- ・ 提言としては長過ぎるよう感じるため、例えば、大きな3つの項目（国づくり、人づくり、技術づくり）に対して、理念的な提言をそれぞれについて示し、素案に書かれているような内容はそれぞれを成就させるために必要な方策（「3つの提言と29の方策」のような感じ）で整理してはどうか。
- ・ 「防災技術づくりへの貢献」のところは、網羅的になっており、タイトルに沿わない提言や課題が見受けられる。
- ・ 今回の意見を長田委員長がとりまとめ、土木地質研究部会に提出する。

5－7. その他

- ・ 次回委員会は、平成25年10月23日(水)、名古屋で開催することで調整することとした。

以上